

平成 16 年度眼科学教室業績集 (2004. 4. ~2005. 3.)

I. 口演 (学会等)

1. 齋藤博:PKP 後, 進行性虹彩萎縮を生じた 1 例. 第 23 回 COST, 東京, 平成 16 年 4 月 2 日.
2. 塩田伸子, 岡田丈, 稲見達也, 吉野啓: 当科で経験した ICE 症候群 3 例. 第 41 回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹, 平成 16 年 4 月 3 日.
3. 高島直子, 平形明人, 堀江大介, 塩田伸子, 宮本裕子, 樋田哲夫: 網膜中心動脈閉塞症における全身合併症の検討. 第 108 回日本眼科学会総会, 東京, 平成 16 年 4 月 15-18 日.
4. 堀田一樹, 鈴木友美, 近藤峰生, 中村誠, 堀田順子, 寺崎浩子, 三宅養三, 樋田哲夫: negative 型 ERG を示す非定型網膜色素変性症. 第 108 回日本眼科学会, 東京, 平成 16 年 4 月 15-18 日.
5. 高間直彦, 藤原隆明: 内麦粒腫に対する排膿散及湯の有効性. 第 108 回日本眼科学会総会, 東京, 平成 16 年 4 月 15-16 日.
6. Okada AA, Wakabayashi T, Kojima E, Asano Y, Hida T: Trans-Tenon' s Retrobulbar Triamcinolone Infusion for Small Choroidal Neovascularization: a Pilot Study. Annual Meeting of the Association for Research In Vision and Ophthalmology (ARVO), Ft Lauderdale, Apr .25-29, 2004
7. Hotta K, Hotta J, Sugitani A, Arisawa T, Terauchi N, Hama Y: Early postoperative macular features determined by optical coherence tomography after idiopathic macular hole surgery using silicone oil tamponade, Annual Meeting of Association for Research in Vision and Ophthalmology, Apr. 26, 2004.
8. 平形明人: 網膜剥離手術の最前線. 第 21 回関東眼科学会, 東京, 平成 16 年 5 月 15 日.
9. 岡田アナベルあやめ: 副腎皮質ステロイド薬の最前線. 第 21 回関東眼科学会, 東京, 平成 16 年 5 月 15 日-16 日.

10. 渡邊夏那子, 寺内直毅, 曾我辺奈穂, 鎌田奏子, 有澤武士, 小野賀子, 堀田順子, 堀田一樹: VDT作業とドライアイ症状の関係. 第21回関東眼科学会, 東京, 平成16年5月15日.
11. 田中恵津子: 糖尿病網膜症患者さんへのロービジョンケア. 2004新潟ロービジョン講演会, 新潟, 平成16年6月5日.
12. 田中恵津子, 小田浩一¹, 西脇友紀, 川嶋英嗣², 樋田哲夫 (¹東京女子大学, ²愛知淑徳大学): リーディングチャートMNREAD-Jとパソコン版pc-MNREAD-Jの臨床比較. 第13回視覚障害リハビリテーション研究発表大会, 千葉, 平成16年6月12日.
13. 西脇友紀, 田中恵津子, 小田浩一¹, 平形明人, 樋田哲夫 (¹東京女子大学): ロービジョンケア再希望者のニーズ. 第13回視覚障害リハビリテーション研究発表大会, 千葉, 平成16年6月12日.
14. 鈴木由美, 仁科幸子, 野田英一郎, 芝大介, 東 範行: 両眼の巨大裂孔網膜剥離を呈した被虐待児症候群の一例. 第29回日本小児眼科学会, 沖縄, 平成16年6月18日.
15. 田中恵津子, 安川雅子, 平形明人, 小田浩一, 樋田哲夫: 視線のずれの認知閾値. 第60回弱視斜視学会, 宜野湾, 平成16年6月19日.
16. 松木奈央子, 永本敏之: ぶどう膜欠損症における白内障手術. 第19回日本眼内レンズ屈折手術学会, 福岡, 平成16年6月25日-27日.
17. 渡辺交世, 永本敏之: 白内障術後に後発白内障を全く生じなかった1例. 第19回日本眼内レンズ屈折手術学会, 福岡, 平成16年6月25日-27日.
18. 永本敏之: 3歳未満のIOL-2. 第19回日本眼内レンズ屈折手術学会, 福岡, 平成16年6月25日-27日.
19. 永本敏之: 粘弾性物質による角膜内皮保護の実際. 第19回日本眼内レンズ屈折手術学会, 福岡, 平成16年6月25日-27日.
20. 寺内直毅, 杉谷篤彦, 有澤武士, 孫鳳銘, 中野敦雄, 小野賀子, 堀田順子, 堀田一樹: 硝子体手術に先行した水晶体摘出・眼内レンズ挿入術の視力改善度. 第19回日本眼内レンズ屈折手術学会, 福岡, 平成16年6月25日.

21. 樋田哲夫：最近の糖尿病網膜症に対するレーザー治療と硝子体手術．第42回北日本眼科学会，福島，平成16年7月3日．
22. 國田大輔，若林俊子，小島絵里，浅野由香，岡田アナベルあやめ：結核性網膜血管炎における臨床像及び血清中抗TBGL抗体陽性率の検討．第38回日本眼炎症学会総会，札幌，平成16年7月9日-10日．
23. 堀田一樹，堀田順子，有澤武士，小野賀子：ステロイド療法中に特異な脈絡膜炎を生じた多発性筋炎の1例．第38回日本眼炎症学会，札幌，平成16年7月9日．
24. 鈴木由美：小児の視力発達および屈折異常．ラジオNIKKEI 日本医師会企画「医学講座」，東京，平成16年7月26日．
25. 平形明人（教育講演）：黄斑浮腫に対する硝子体手術の現状．第27回独協医科大学眼科栃木県眼科医会合同講演会，栃木，平成16年7月30日．
26. 平形明人（教育講演）：細隙灯顕微鏡による後眼部の観察．第6回川崎眼病変談話会，ホテルザ・エルシー5階「銀河」，平成16年7月31日．
27. 平形明人：高度近視眼の牽引性黄斑症．第6回Japan Macula Club，蒲郡，平成16年8月20-21日．
28. 中野敦雄，有澤武士，孫鳳銘，小野賀子，堀田順子，堀田一樹：片眼に多発した原因不明の網膜深層斑状出血の1例．第12回千葉硝子体研究会，長生郡，平成16年9月4日．
29. 堀田一樹，堀田順子，有澤武士，小野賀子：眼底所見と全視野・多局所ERG所見の一致しない錐体ジストロフィー．第12回千葉硝子体研究会，長生郡，平成16年9月4日．
30. T Hida, A Hirakata: Vitrectomy for macular detachment associated with optic disc pit. Meeting of the Club Jules Gonin, Athens, 8-12 September 2004.
31. 有澤武士，成田信，小野賀子，堀田順子，堀田一樹：当院における結膜悪性黒色腫の治療，第244回千葉眼科集談会．千葉，平成16年9月12日．
32. 永本敏之：低侵襲白内障手術－インフィニティ・モナーク IIC の効用－. Alcon Ophthalmic Seminar,

名古屋，平成 16 年 9 月 18 日．

33. 樋田 哲夫：糖尿病網膜症に対する手術治療レーザー凝固と硝子体手術，第 10 回大阪眼科手術シンポジウム，大阪，2004 年 9 月 25 日．
34. 塩田伸子¹，岡田丈¹，稲見達也¹，吉野啓^{1,2}（¹杏林大・医・眼科，²若葉眼科病院）：内皮網除去を併用したトラベクロトミーの手術成績．第 15 回日本緑内障学会，新潟，平成 16 年 9 月 25-26 日．
35. 松木奈央子，永本敏之：外傷性無虹彩症の治療．第 6 回西東京眼科フォーラム，三鷹，平成 16 年 10 月 2 日．
36. 菅原道孝，岡田アナベルあやめ：杏林アイセンターにおける眼炎症外来・黄斑疾患外来の現況．第 6 回西東京眼科フォーラム，三鷹，平成 16 年 10 月 2 日．
37. 樋田哲夫：網膜硝子体診察の変遷と進歩．熊本大学眼科開講百周年記念学術講演会，熊本，平成 16 年 10 月 10 日．
38. Hotta K, Hotta J, Arisawa T, Ono Y: Refractive changes in silicone oil-filled pseudophakic eyes, VIII Mediterranean Ophthalmology Society Congress, Antalya, Oct .13, 2004.
39. 永本敏之：白内障の日常診察．多摩地区眼科アップデートセミナー，立川，平成 16 年 10 月 16 日．
40. Okada AA: Trans-Tenon' s retrobulbar triamcinolone infusion for macular edema. American Uveitis Society Meeting, New Orleans, Oct .24, 2004.
41. Okada AA: "Treatment of Sympathetic Ophthalmia and VKH Disease," Symposium on "Evidenced based Medicine Review of the Literature on the Matter of Therapy for Uveitis," Annual Meeting of the American Academy of Ophthalmology, New Orleans, October 25, 2004.
42. 清水源政，斉藤博，東雅美，細井文子，樋田哲夫：涙点プラグの合併症．第 42 回多摩眼科集談会，東京，平成 16 年 10 月 30 日．
43. 白石芳子，杉山和歌子，吉野 啓（若葉眼科病院）：成人の淋菌性結膜炎の 1 例．第 42 回東京多摩地区眼科集談会，東京，平成 16 年 10 月 30 日．

44. T Hida : Vitrectomy for Posterior Retinoschisis and Retinal Detachment Associated with Optic Disc Pit and High Myopia The 6th Japan-Taiwan Joint Meeting of Ophthalmology Okinawa, Nov6, 2004.
45. 樋田 哲夫：硝子体手術の進歩を振り返って．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
46. 平形明人，杉谷篤彦，飯塚典子，川真田悦子，樋田哲夫：乳頭ピット黄斑症の光干渉断層計（OCT3）所見．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
47. 平形明人：網膜硝子体手術の標本．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
48. 平形明人：網膜硝子体手術の標本．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
49. 菅原道孝，岡田アナベルあやめ，若林俊子，小島絵里，渡邊交世，樋田哲夫：眼サルコイドーシスに対する局所治療の検討．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
50. 岡田アナベルあやめ：ぶどう膜炎に対する免疫抑制療法の EBM．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
51. 岡田アナベルあやめ：トリアムシノロン眼球周囲投与の応用．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
52. 國田大輔，今野公士，三木大二郎，忍足和浩，平形明人，樋田哲夫：マイラゲルを用いた強膜バックリングの術後合併症．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 11 日-14 日．
53. 曾我辺奈穂，鎌田奏子，有澤武士，小野賀子，堀田順子，堀田一樹：当院における過去 8 年間の視能訓練士業務の変遷．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 13 日．
54. 有澤武士，三戸秀哲，成田信，小野賀子，堀田順子，堀田一樹：小眼球症を合併した眼窩脂肪腫の 1 例．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 13 日．
55. 中野敦雄，有澤武士，小野賀子，寺内直毅，孫鳳銘，堀田順子，堀田一樹：多発性筋炎・皮膚筋炎の眼底病変．第 58 回日本臨床眼科学会，東京，平成 16 年 11 月 13 日．

56. 堀田一樹, 井上真, 門之園一明, 塚原逸朗, 三木大二郎: 硝子体手術による網膜剥離の治し方 ABC. 第 58 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 16 年 11 月 13 日.
57. Terauchi N, Goto E, Hotta K, Tsubota K: Ocular symptoms associated with Visual Display Terminal works - effect of sodium-hyaluronate solution -, 4th International Conference on the Lacrimal Gland, Tear Film, Ocular Surface and Dry Eye Syndromes: Basic Science and Clinical Relevance, Fajardo, Nov. 17, 2004 .
58. 齋藤 博: 緩んだ糸から生じた角膜真菌症. 第 25 回 COST, 東京, 平成 16 年 12 月 3 日.
59. 杉谷篤彦, 平形明人, 平岡智之, 三木大二郎, 川真田悦子, 菅本良治, 三井恭子, 樋田哲夫: 強度近視眼の黄斑円孔網膜剥離に対する内境界膜剥離の有用性. 第 43 回日本網膜硝子体学会総会, 前橋, 平成 16 年 12 月 3 日.
60. 堀田順子, 小野賀子, 堀田一樹: 片眼性の occult maculopathy が疑われた 1 例. 第 43 回日本網膜硝子体学会, 前橋, 平成 16 年 12 月 4 日.
61. Hirakata A: Vitrectomy for Optic Disc Pit Maculopathy. The 2nd International Symposium on Macular Diseases. Bangkok, Dec.18, 2004.
62. Hirakata A: Vitrectomy for Traction Maculopathy in High Myops. The 2nd International Symposium on Macular Diseases. Bangkok, Dec.18, 2004.
63. 岡田アナベルあやめ: 経瞳孔温熱療法. 第 73 回網膜病変談話会, 東京, 平成 16 年 12 月 16 日.
64. 田中恵津子: 糖尿病網膜症患者さんへのロービジョンケア. 東京臨床糖尿病医会第 106 回例会, 東京, 平成 17 年 1 月 15 日.
65. 岡田アナベルあやめ: 経瞳孔温熱療法. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
66. 平形明人, 吉川洋, 後藤浩, 沖坂重邦: 眼科手術に必要な病理検査の基礎知識—明日からはじめよう「手術をしたら病理検査」—. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.

67. 大路正人, 瓶井資弘, 日下俊次, 塚原逸郎, 平形明人, 三木大二郎: 硝子体手術. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
68. 平形明人 (教育講演): 術後眼内炎に対する硝子体手術. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
69. 平形明人: 眼科手術に必要な病理検査の基礎知識—明日からはじめよう「手術をしたら病理検査」—. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
70. 今野公士, 忍足和浩, 樋田哲夫, 日野健, 菊池隆史: 開頭術を併用して腫瘍摘出を行った肺腺癌眼窩転移の 1 例. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
71. 塩田伸子¹, 並木泉¹, 藤岡保範³, 吉野啓^{1,2} (¹杏林大・医・眼科, ²若葉眼科病院, ³杏林大・医・病理): 毛様体黒色細胞腫による続発緑内障の治療経験. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
72. 小笠原亜希子, 永本敏之: 眼内レンズ毛様溝縫着の長期成績. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
73. 折原唯史, 永本敏之: 水晶体囊拡張リングの手術成績. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
74. 松木奈央子¹, 永本敏之¹, 木村肇二郎² (¹杏林アイセンター, ²木村眼科): 虹彩付リング挿入を試みた無虹彩症の 4 例. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
75. 渡辺交世, 永本敏之: インフィニティによる超音波エネルギー量低減効果. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
76. 並木泉, 永本敏之: 先天白内障術後の屈折変化. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.
77. 増本美枝子, 菅本良治, 杉谷篤彦, 平岡智之, 平形明人, 樋田哲夫: 裂孔原性網膜剥離に続発する黄斑円孔の治療. 第 28 回日本眼科手術学会, 大阪, 平成 17 年 1 月 28 日-30 日.

78. 三木大二郎, 堀田一樹, 塚原逸朗, 井上真, 野田徹: 初心者のための硝子体手術. 第 27 回日本眼科手術学会, 大阪, 2005 年 1 月 28 日.
79. 有澤武士, 成田信, 小野賀子, 堀田順子, 堀田一樹: 結膜悪性黒色腫の 3 例. 第 27 回日本眼科手術学会, 大阪, 2005 年 1 月 30 日.
80. 平形明人: 網膜剥離術後の交感性眼炎. Tomamu Vitrectomy Meeting/日本アルコン株式会社, 勇払郡, 平成 17 年 2 月 11 日-12 日.
81. 樋田 哲夫: 最近の糖尿病網膜症の手術療法. 北陸眼疾患シンポジウム, 金沢, 平成 17 年 2 月 27 日.
82. 樋田 哲夫: 糖尿病と眼—あなたの視力を維持するために—, 第 11 回日本糖尿病眼学会, 名古屋, 2005 年 3 月 5 日.
83. 中野敦雄, 小野賀子, 孫鳳銘, 有澤武士, 堀田順子, 堀田一樹: 糖尿病網膜症患者に対する眼内レンズ二次挿入. 第 11 回日本糖尿病眼学会, 名古屋, 平成 17 年 3 月 5 日.
84. 平形明人: 杏林アイセンターにおける糖尿病性網膜症のチーム医療. 第 10 回糖尿病の官報治療研究会勉強会, 平成 17 年 3 月 10 日.
85. 佐生亜希子, 鈴木友美, 鎌田奏子, 有澤武士, 小野賀子, 堀田順子, 堀田一樹: 視覚障害による身体障害者手帳取得—未取得者の追跡調査—. 第 245 回千葉眼科集談会, 千葉, 平成 16 年 3 月 13 日.
86. 平岡智之, 篠崎尚史, 平形明人, 樋田哲夫¹, 佐藤康彦², 福田稔³ (¹杏林大・医・眼科, ²杏林大・医・RI 研究部, ³杏林大・医・電子顕微鏡室) : イモリ網膜再生過程における N-cadherin, R-cadherin の発現. 第 109 回日本眼科学会総会, 京都, 平成 17 年 3 月 24 - 27 日.
87. 菅原道孝, 岡田アナベルあやめ, 渡邊交世, 杉山和歌子, 樋田哲夫: Acute annular outer retinopathy の 1 例. 第 109 回日本眼科学会総会, 京都, 平成 17 年 3 月 24 日-27 日.
88. 有澤武士, 成田信, 三戸秀哲, 中野敦雄, 小野賀子, 堀田順子, 堀田一樹: 涙腺原発性扁平上皮癌の 1 例—病理組織学的検討—. 第 109 回日本眼科学会, 京都, 平成 17 年 3 月 24 日-27 日.

89. 三木大次郎：新しい 25 ゲージ硝子体手術. 第 109 回日本眼科学会総会, 京都, 平成 17 年 3 月 24 - 27 日.

II. 論文

1. 樋田哲夫：高血圧と糖尿病網膜症. 日本医師会雑誌 132 : KGA17-20, 2004.
2. 石田晋, 山城健児, 臼井智彦, 天野史郎, 小椋祐一郎, 樋田哲夫, 小口芳久：網膜浮腫・虚血・血管新生を制御する白血球の重要性について. 日本眼科学会雑誌 108 : 193-201, 2004.
3. Okada AA, Wakabayashi T. Trans-Tenon' s retrobulbar triamcinolone infusions in uveitis. *Br J Ophthalmol* 88: 1102-1103, 2004.
4. Ohguro N, Okada AA, Tano Y. Trans-Tenon' s Retrobulbar Triamcinolone Infusion for diabetic macular edema. *Graefe' s Arch Clin Exp Ophthalmol* 242:444-445, 2004 .
5. 平形明人, 稲見達也, 斉藤真紀, 岡田アナベルあやめ, 樋田哲夫, 石田晋, 篠田啓, 浦守正史, 川野晃一, 鈴木参郎助：眼内悪性リンパ腫における硝子体内インターロイキン-10, インターロイキン-6 の診断的価値. 日本眼科学会雑誌 108 : 359-367, 2004.
6. Okada AA : International guidelines: all for one and one for all? *Arch Ophthalmol* 122: 1091-1092, 2004.
7. Okada AA, Wakabayashi T, Kojima E, Asano Y, Hida T : Trans-Tenon' s retrobulbar triamcinolone infusion for small choroidal neovascular membranes. *Br J Ophthalmol*, 88:1097-1098, 2004.
8. Okada AA, Wakabayashi T : Accurate placement of corticosteroids into the sub-Tenon' s space provides good drug penetration into the eye. *Br J Ophthalmol* 88:1102-1103, 2004.
9. 岡田アナベルあやめ：嚢胞様黄斑浮腫(CME)の治療戦略 トリアムシノロンアセトニドの経テノン嚢球後注入. 眼紀 55:442-444, 2004.
10. 永本敏之：前嚢染色の方法. *IOL&RS* 18:36-41, 2004.

11. 平岡智之, 小田仁, 三木大二郎, 平形明人, 樋田哲夫: 下方弁状裂孔網膜剥離に対する強膜バックリング法と硝子体手術の比較. 眼紀 55:210-213, 2004.
12. 國田大輔, 若林俊子, 小島絵里, 浅野由香, 森村佳弘, 岡田アナベルあやめ: 結核性強膜炎が疑われた2症例. 眼紀 55:471-474, 2004.
13. Wakabayashi T, Okada AA, Morimura Y, Kojima E, Asano Y, Hirakata A, Hida T. : Trans-Tenon's Retrobulbar Triamcinolone Infusion for Chronic Macular Edema in Central and Branch Retinal Vein Occlusion. *Retina* 24:964-967, 2004.
14. 根間千秋, 忍足和浩, 高島直子, 岡田アナベルあやめ, 樋田哲夫: 当科における涙小管断裂の手術. 臨眼 58:355-358, 2004.
15. 岡田アナベルあやめ: ぶどう膜炎にみられる嚢胞様黄斑浮腫の治療: ステロイドの眼球周囲投与および硝子体内投与. 眼科手術 17:171-175, 2004.
16. 岡田アナベルあやめ: 巻頭言—Value-Based Medicine の概念—. 眼科手術 17:461-462, 2004.
17. 岡田アナベルあやめ: 経瞳孔温熱療法. あたらしい眼科 21:1360-1361, 2004.
18. 岡田アナベルあやめ: ぶどう膜炎の新しい流れ—EBM の導入に基づいた治療開発—. 医学のあゆみ 211:985-988, 2004.
19. 永本敏之: 小児眼内レンズの選択. 眼科手術 18:43-45, 2004.
20. 渡辺交世, 永本敏之, 石垣純子, 平岡智之, 原田拓二: 白色白内障でのトリパンプル-前囊染後 Continuous Curvilinear Capsulorhexis 成功率. IOL& RS 18:304-310, 2004.
21. 浜由起子, 永本敏之: 白内障手術自己閉鎖創の閉鎖率に対する年齢の影響. 眼紀 55:791-795, 2004.
22. 高島直子, 小田仁, 三木大二郎, 平形明人, 樋田哲夫: 特発性黄斑円孔手術の予後. 眼科手術 17:429-433, 2004.
23. 内野裕一, 堀田一樹, 樋田哲夫: Occult Macular Dystrophy の1例. 眼紀 55:398-402, 2004.

24. 内野裕一, 堀田一樹:上方弁状裂孔による裂孔原性網膜剥離に対する術後長期滞留性ガスタンポナーデを用いない硝子体手術の成績. 臨眼 58:1533-1537, 2004.
25. 福本太郎, 有澤武士, 堀田一樹:デザインの異なるアクリルレンズ挿入の術後経過. 眼紀 55:787-790, 2004.
26. 有澤武士, 堀田一樹:白内障術後のジクロフェナクナトリウム点眼が後嚢切開施行率に及ぼす影響. IOL&RS18:51-55, 2004.
27. 杉谷篤彦, 堀田一樹:シリコーンオイル注入・抜去に伴う屈折変化. 眼臨 98:814-816, 2004.
28. 杉谷篤彦, 堀田順子, 堀田一樹:短期シリコーンオイルタンポナーデの術後合併症. 臨眼 58:1989-1994, 2004.
29. 田中恵津子 1, 小田浩一 2, 西脇友紀 1, 川嶋英嗣 3, 樋田哲夫 1 (1 杏林アイセンター, 2 東京女子大学, 3 愛知淑徳大学):リーディングチャート MNREAD-J とパソコン版 pc-MNREAD-J の臨床比較. 第 13 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会サマリー集, 31, 2004.
30. 西脇友紀, 田中恵津子 1, 小田浩一 2, 平形明人, 樋田哲夫 1 (1 杏林アイセンター, 2 東京女子大学):ロービジョンケア再希望者のニーズ. 第 13 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会サマリー集, 30, 2004.
31. 田中恵津子 1, 小田浩一 2, 西脇友紀 1, 川嶋英嗣 3, 樋田哲夫 1 (1 杏林アイセンター, 2 東京女子大学, 3 愛知淑徳大学):リーディングチャート MNREAD-J とパソコン版 pc-MNREAD-J の臨床比較. 第 13 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会論文集, 76-79.
32. 鈴木由美, 川瀬英理子, 仁科幸子, 東 範行:乳頭周囲ぶどう腫の光干涉断層計像. 臨眼 58:1241-1243, 2004.
33. 寺内直毅, 堀田一樹:硝子体手術に先行した水晶体摘出・眼内レンズ挿入術の視力改善. IOL&RS18:408-413, 2004.
34. Hotta K, Sugitani A, Uchino Y: Pars plana vitrectomy without long-acting gas tamponade for primary rhegmatogenous retinal detachment. Ophthalmologica 218: 270-273, 2004.

35. Hotta K: Unsuccessful vitrectomy without gas tamponade for macular retinal detachment and retinoschisis without optic disc pit. *Ophthalmic Surg Lasers Imaging* 35: 328-331, 2004.
36. 小幡博人, 森 樹郎, 平形明人: 眼内悪性リンパ腫の診断. 硝子体の寒天包埋と網膜生検. *眼科* 46:1085-1092, 2004.
37. 小幡博人, 平形明人, Alan D. Proia : 単純糖尿病網膜症の病理. *眼科* 46 : 1317-1321, 2004.
38. 小幡博人, 平形明人, Alan D. Proia : 増殖糖尿病網膜症の病理. *眼科* 46 : 1773-1777, 2004.
39. Hirakata A, Okada AA, Hida T: Longterm results of vitrectomy without laser treatment for macular detachment associated optic disc pit. *Ophthalmology* (in press) 2005.
40. Morimura Y, Okada AA, Hayashi A, Fujioka S, Hashida N, Kawahara S, Hida T : Histology and protein expression in subthreshold transpupillary thermotherapy in rabbit eyes *Arch Ophthalmol* 122:1510-1515, 2004. Authorship correction in *Arch Ophthalmol* 123:281, 2005.
41. 有澤武士, 堀田一樹: AcrySof[®]と Acryfold[®]の前囊収縮. *眼科手術* 18:224-228, 2005.
42. 寺内直毅, 堀田一樹: VDT 作業とドライアイ症状の関係-ヒアルロン酸ナトリウム点眼の効果-. *眼臨* 99:38-41, 2005.
43. 寺内直毅, 堀田一樹: 水晶体切除・硝子体切除後の角膜内皮細胞密度減少. *眼科手術* 18:241-244, 2005.
44. 浜由起子, 堀田一樹: 網膜細動脈瘤破裂に対する硝子体手術後経過. *眼科手術* 18:101-105, 2005.
45. Hotta K, Sugitani A: Refractive changes in silicone oil-filled pseudophakic eyes. *Retina* 25: 167-170, 2005.
46. Hirakata A, Hida T, Ogasawara A, Iizuka N: Multi-layered retinoschisis associated with optic disc pit. *Jpn J Ophthalmol* (in press) .

47. Hirakata A, Hida T, Fukuda M: Unusual posterior hyaloid strand in optic disc pit maculopathy in a young child: Intraoperative and histopathological findings. *Jpn J Ophthalmol* (in press) .
48. 三木大次郎：網膜剥離 早期発見！治療！ケア！，失明の可能性を指摘された患者へのアプローチ法. *眼科ケア* 6 : 724-727, 2004.

Ⅲ. 著書（電子メディアを含む）

1. 樋田哲夫（責任編集），田野保雄，根木昭，坪田一男，大鹿哲郎（編集）：眼科診療プラクティスー黄斑疾患の病態理解と治療，文光堂，東京，2004.
2. 樋田哲夫：黄斑疾患の病態を理解し治療に活かす. *眼科診療プラクティスー黄斑疾患の病態理解と治療ー*. 東京，文光堂，2004. p 2-15.
3. 浅野由香，岡田アナベルあやめ：経瞳孔温熱療法（TTT）. *眼科診療Q&A*. 中島章，猪俣孟，野崎道雄，他編. 東京，六法出版，2004. p. 152-153 .
4. 平形明人：硝子体手術の効果と予後. 大鹿哲郎他（編）：*術後眼内炎，眼科プラクティス 1*，東京，文光堂，2005. p 34-37 .
5. 平形明人：黄斑分離と剥離. 樋田哲夫他（編）：*黄斑疾患の病態理解と治療，眼科プラクティス 2*，東京，文光堂，2005. p 250-255.
6. Okada AA. EBM: Immunomodulatory therapy for uveitis. In: *Proceedings of the 5th International Symposium on Ocular Pharmacology and Therapeutics - ISOPT*, Krupsky, R Neumann (eds.). Monduzzi Editore, Bologna, Italy, 2004. p. 149-154.
7. 岡田アナベルあやめ：ぶどう膜炎に対するトリアムシノロン. *眼科インストラクションコース*. 黒坂大次郎，白神史雄編，東京，メジカルビュー社，2004. p. 138-139.
8. 高間直彦：7章 代謝・栄養系 1 糖尿病網膜症. *臨床医科学入門*. 石田均，坂倉弘重，志村二三夫，田中清編，東京，光生館，2004. p122-123 .

9. 鈴木由美, 東 範行: 11 章 先天異常 朝顔症候群 眼科診療ガイド, 眼科プラクティス編集委員編, 東京, 文光堂, 2004. p442- p443 .
10. 鈴木由美: 特集 眼の健全な発達を守る 未熟児網膜症・先天鼻涙管閉塞チャイルドヘルス, 仁科幸子編, 東京, 診断と治療社, 2005・3. p 34- p 35, p 36- p 37.
11. 田中恵津子: IX黄斑疾患とロービジョンケア, 2黄斑疾患の病態理解と治療, 眼科プラクティス, 文光堂, 東京, 平成 17 年 3 月 19 日.
12. 三木大二郎: 外傷性黄斑円孔. 眼科診療プラクティス-黄斑疾患の病態理解と治療-. 文光堂, 東京, 2004. P66- p67 .

IV. その他

1. 堀田一樹, 有澤武士 (監修): 水晶体・硝子体同時手術後の眼内レンズ二時挿入の経過. IOL INFORMATION Vol. 6, 参天製薬, 大阪, 2004.
2. 堀田一樹 (監修): VDT 作業とドライアイ. 角膜疾患トピックス, 参天製薬, 大阪, 2005.
3. 齋藤 博: カメラと目はそっくりだ!! オバケ写真のナゾにせまれ! 目の仕組み監修, チャレンジ未来アドベンチャー5年生5月号, 岡山, ベネッセコーポレーション, P19, 2004.